

#### 第4節 包含層出土遺物（第15～24図）

本調査の出土遺物の大半は、中世包含層及び中世耕作土層から出土した遺物である。また、自然流路の埋土の遺物も原位置を保つものではなく、併せてここで報告する。これらは石器・土器・近世陶磁器・錢貨・瓦・石製品等コンテナ約60箱に及ぶ。細片も多いが図化し得るものは図化に努めた。各地区出土地点は煩雜となる為、一覧表にまとめた。また、出土層位は各地区的取り上げ層位である。以下各個別に概要を述べる。

石器（376～402）出土した石器類に現位置を保つものは認められない。溝最下層から出土した石鎌についても様々な時代の遺物と共に出土しており、出土状況から時期を判断でき得るものではない。分布に関しては、积迦坊川右岸に集中して認められる。石器の種類としてはサヌカイト製の石鎌（376～388、389、390～392、394～397）・スクレイバー（398）・石匙（393）と砂岩製の磨り石（368）がある。

弥生土器（18～20）溝18の最下層の遺物（13）の他、包含層出土の3点（18～20）が認められる。いずれも遺存状態は悪く、中期の壺と甕の底部である。4点とも中位段丘突端部に相当する位置に集中して検出されている。

須恵器（21～56、403～405）一部古墳時代に属するものも含まれるが、概ね奈良時代を中心とする時期の遺物が大半を占める。21と22は甕の口縁部である。23は甕体部の小片で、陶邑産の特長を示す。24～26は壺蓋の把手部、27は瓶の把手部で、28は短頸壺である。29と30は長頸壺の頸部である。31と32は土錘である。33～40は宝珠つまみを持つ杯蓋、41～47は杯の高台部片、45～56と404～405は壺の底部である。403は古墳時代の杯蓋で、包含層内の出土と40区大溝出土の遺物が接合されたものである。

製塙土器（57～64、406～409）57～62は丸底型の製塙土器の口縁で、外縁を指押さえし、内面に横ナデ調整を行っている。口縁が立ち上がるるものや、やや外反するもの、丸みをもったもの等があるが、掘立柱建物群を検出した地区での包含層出土遺物の個体差の有無については不明である。63と64は甕型Ⅰ式の製塙土器口縁と考えられる。くの字に外反し外縁は縱方向のハケ状工具痕が、内面はナデと指押さえが認められる。いずれも破片で極めて遺存状態は悪く、完全な器形を復元できるものはない。薄手で胎土には砂粒の混入が認められる。丸底Ⅲ式と甕型製塙土器の共伴例は泉州地方で現在確認されていないため、同時期に併存した可能性は薄いが、掘立柱建物の存続時期を含め8世紀中葉以降の所産としておきたい。

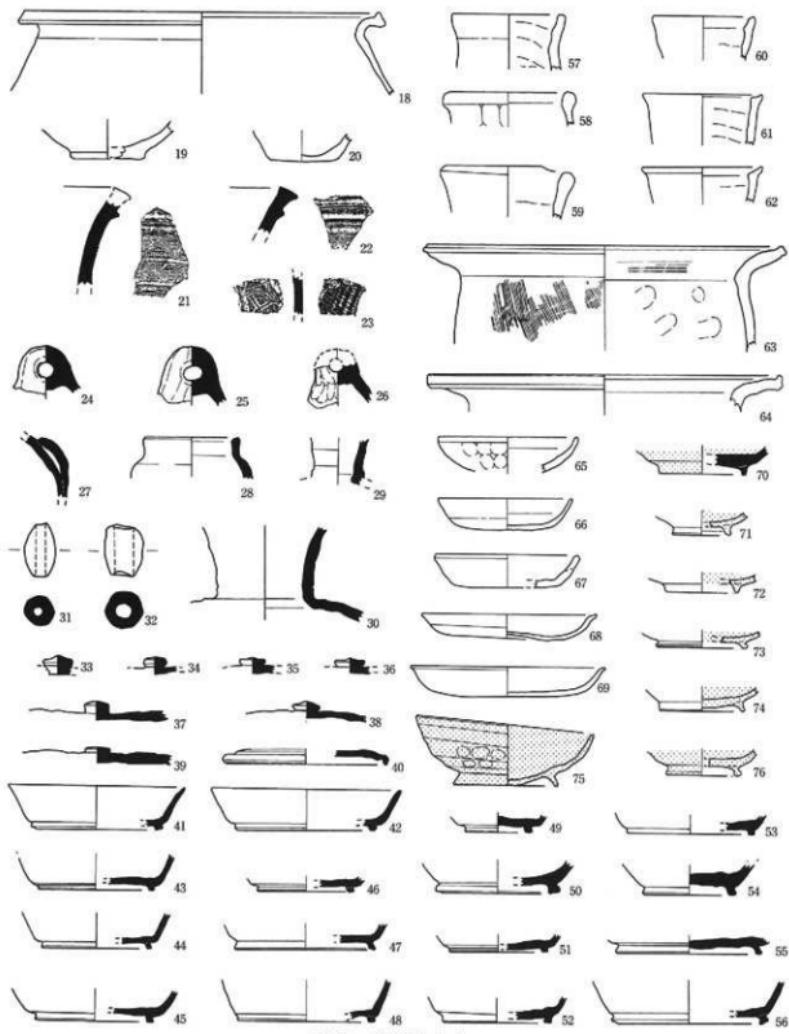
土師器（65～69）いずれも浅い椀あるいは皿の類である。底部と体部が屈曲するもの（67）や口縁端部を外側へやや摘むもの（68・69）などがある。

綠釉陶器（70）38区の中世包含層から出土した椀高台部分の破片である。高台は貼り付けており素地は黄白色の軟質である。釉薬は淡緑色を呈し、9世紀末から10世紀の近畿産と思われる。

黒色土器（71～76）71～74は八の字に張り出す高台を貼り付けた内黒のA類の椀である。75と76は両黒のB類の椀である。

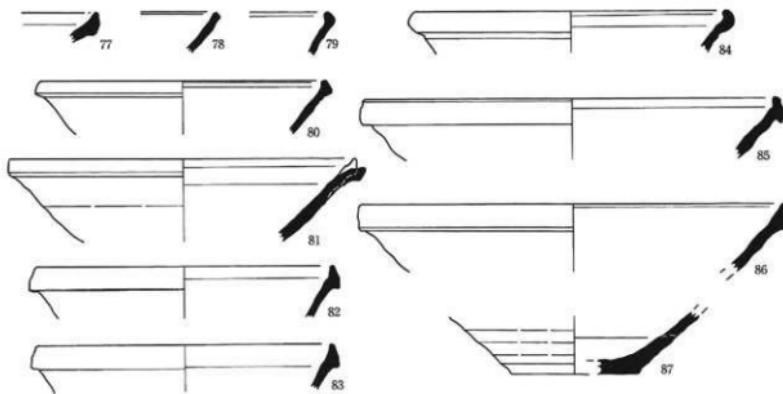
須恵質土器（77～87、414～417）いずれも東播系の鉢の破片である。口縁端部の形状から、12世紀代のもの（78・79・84）と、13世紀以降の所産のもの（77・80～83・85～87）が認められる。

土師器小皿（88～117）底部から屈曲して立ち上がり外面に指押さえを施すもの93や小型でやや外反するもの94等、バラエティーに富んだ器形が認められる。



第15図 出土遺物（1）

瓦器・瓦器小皿（118～169）瓦器碗は各地区包含層から大量に出土するが、いずれも細片で遺存状態は悪く表面の炭素吸着はほぼ剥離している。外面の暗文は痕跡は認められるものの磨耗が著しく僅かに指押さえの凹凸が認められるものが大半を占める。内面の見込みに平行暗文や斜格子暗文が遺存するもの



第16図 出土遺物（2）

も僅かに認められる。形態と高台から和泉型Ⅱ～Ⅲ形式の範疇の遺物群である。瓦器小皿も瓦器椀と同時期と考えられる。

瓦質鉢・羽釜（170～180、418～421）170～174は瓦質鉢で、外面は横方向に削り、内面はハケ調整による。13～14世紀代の所産と考えられる。175～177は14世紀代の瓦質羽釜、180は13世紀以降の瓦質足釜の三足部分である。178は瓦質搗把手である。179は14世紀代以降の瓦質の漆焼壺である。口縁は厚く外反し玉縁状を呈する。外面はタタキ調整、内面は細かい板状の工具でヨコナデを行っている。

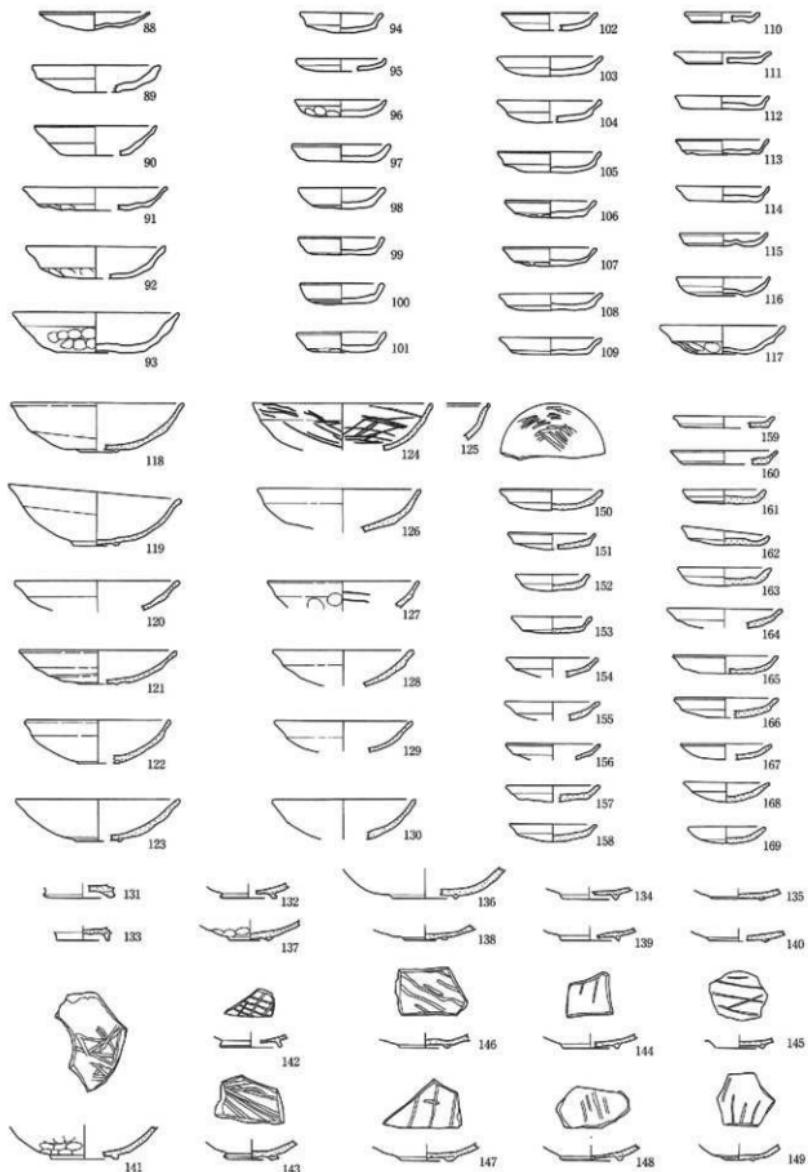
白磁・青磁（181～196、197～236）181～186と191～194は玉縁口縁を持つ白磁碗である。188～189・195は白磁皿である。いずれも12～13世紀代の所産と思われる。

197～212は13～16世紀の龍泉窯系蓮弁文青磁碗、213～216は龍泉窯系無文青磁碗である。217～220と226～236は龍泉窯系劃花文青磁碗である。223～225は龍泉窯系雷文青磁碗で15世紀代のものである。221は龍泉窯系青磁杯である。

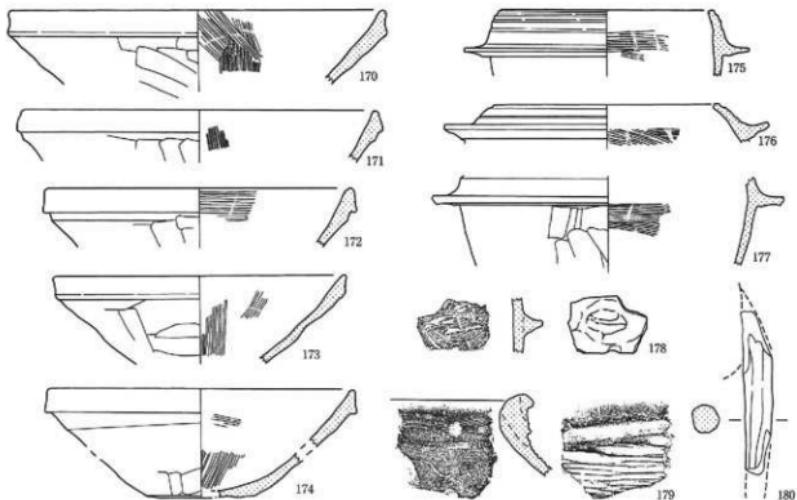
土師質蛸壺（237～264）中世の包含層から土師質の蛸壺が出土している。いずれも最大径が口縁あるいは胴部下半にくる砲弾型をした厚手のもので、真蛸壺である。

近年の阪南市教育委員会の調査で、箱作今池遺跡内の北側海岸部地城で蛸壺焼成土坑が検出されており、これらの蛸壺も集落内等近隣の地元産の可能性が高い。胎土色調は表面が淡い橙色をしており、断面を観察すると淡い橙色の胎土と乳白色の胎土がマーブル状に練り合わせられているのが箱作産の特徴と見られる。成形方法は口縁部を下にして、粘土紐を口縁部から巻き上げ、最終段階で尖底部を作りだしている。頭部に紐を掛ける括れを作り出す為、やや口縁端を外反させ括れ部分は一周丁寧な指押さえを施して成形される。外面は粘土紐の凹凸をなで消した後、全体を指頭圧跡で調整している。尖底部分の内面には約3種類の調整方法が認められる。14は工具状のもので粘土を搔き取るように調整する。241は丁寧な指押さえにより粘土紐の段差を調整している。243は粘土紐の部分を何度もなで消している。同一層出土の瓦器から見て13～14世紀を中心とした時期の蛸壺と思われる。

237の蛸壺は藏骨器として転用されたため、完形のまま25区斜面に埋められていた。内部に大量の人



第17図 出土遺物（3）



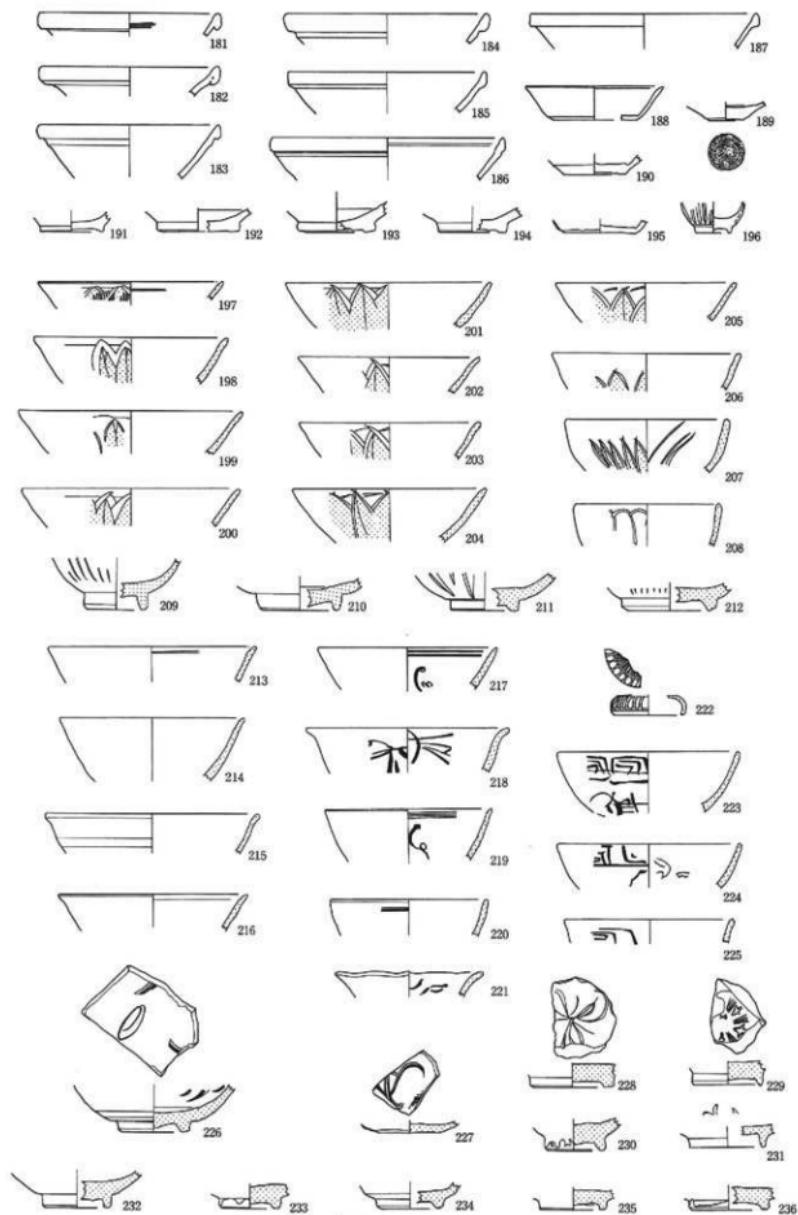
第18図 出土遺物（4）

骨が詰まっている。上記は典型的な調整例である。238～255は口縁端部が丸く、外内面共に粘土紐の単位ごとに丁寧な指頭圧痕で調整している。256と257は口縁が薄くやや外反し、胎土が白色である。239～244は尖端部分である。磨耗が著しく外面はかなり減って表面の調整は指頭圧痕の痕跡を残すのみである。尖底部分もすり減って丸みを帯びている。258は口縁が丸く外反する轆轤成形のもので近世の所産である可能性がある。

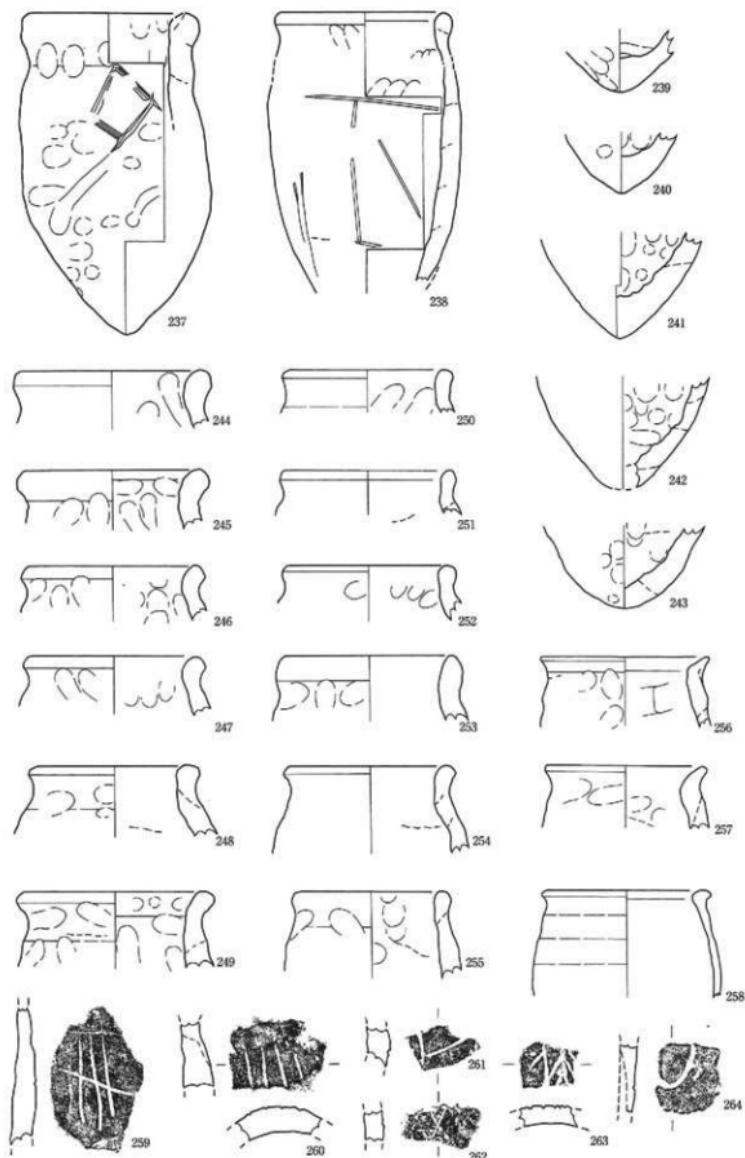
線刻を有する蜻蛉も認められる（237・238・259～264）。線刻には二種類あり、直線で構成されるもの（237～238・259～263）と曲線で構成されるもの（264）がある。窯印は所有者印とも言われているが特に法則は見いだせない。

土錘（265～315）有孔土錘及び管状土錘は遺構等からの出土は無く、中世包含層及び中世～近世耕作土層から出土している。時期は弥生時代から近世のものまで含まれており、地区や層位による詳細な分類ができなかったため、漁労具として一括報告する。有孔土錘（265～273）は土師質と瓦質のタイプがあり、棒状粘土紐の上下に孔を2つ穿ったものがある。管状土錘（274～315）は棒状の軸に粘土を巻き付けた後軸を抜いて成形するものである。274～289は直径が大きく、290～315は比較的の直径が小さいものである。290～315のタイプの管状土錘は弥生時代後期から現代に至るまで形状変化に乏しく、時期決定は困難である。305と306は瓦質で、その他の土師質である。

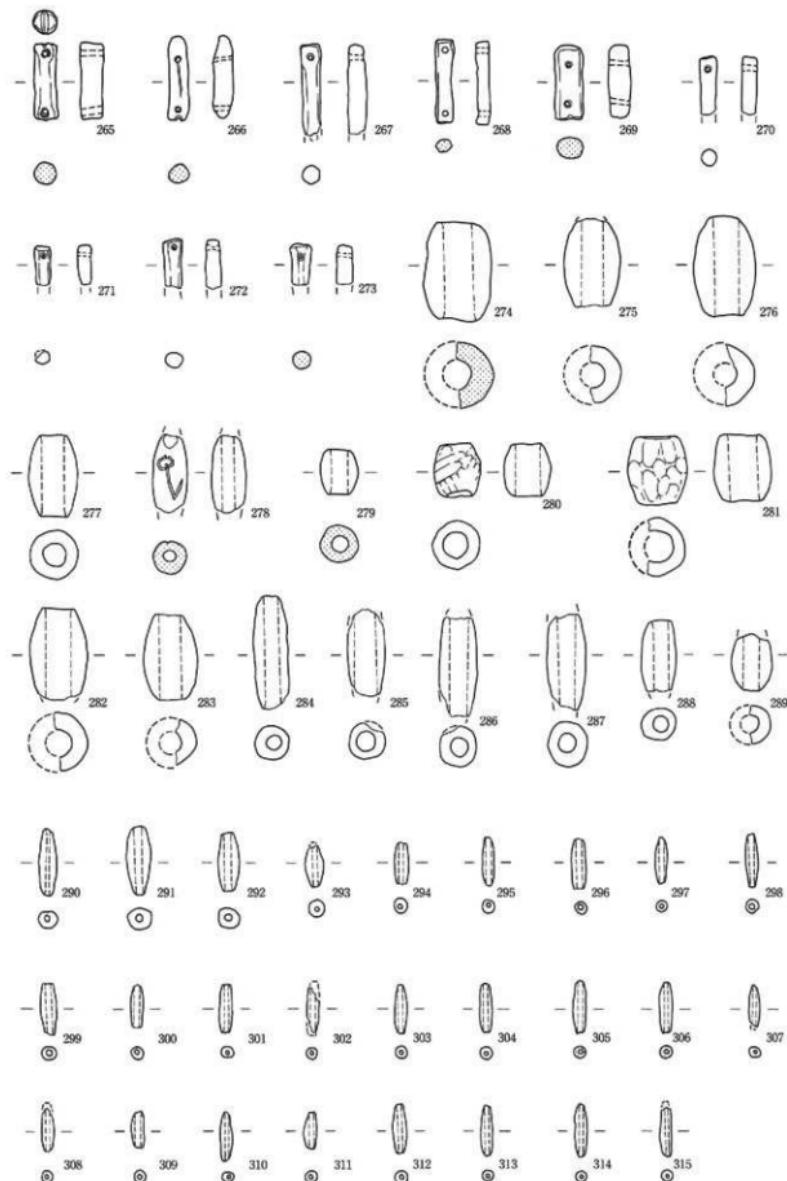
貨幣（316～328）全調査区より合わせて13点の貨幣が出土した。北宋錢を中心とする。出土状況は、包含層に含まれるもののが大半である。316は元平寶（北宋998～1003年）、317と318は天聖元寶（北宋1023年）、319は景祐通寶（北宋1023年）、320と321は皇宋通寶（南宋1253）、322は聖宋元寶（北宋1101）、323は大觀通寶（北宋1107年）、324は政和通寶（北宋1111年）、325は洪武通寶（明1368年～鑄錢：天正～元祐期1580年）、326は治平元寶（北宋1064～1067～鑄錢：天正～元祐期1580年）、327は元豐通寶（北宋



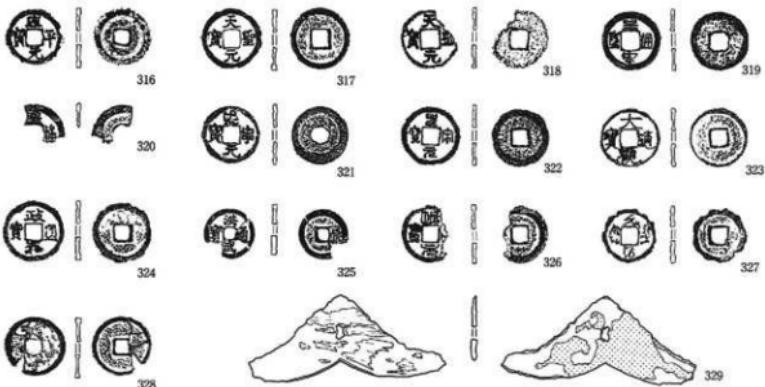
第19図 出土遺物（5）



第20図 出土遺物（6）



第21図 出土遺物 (7)



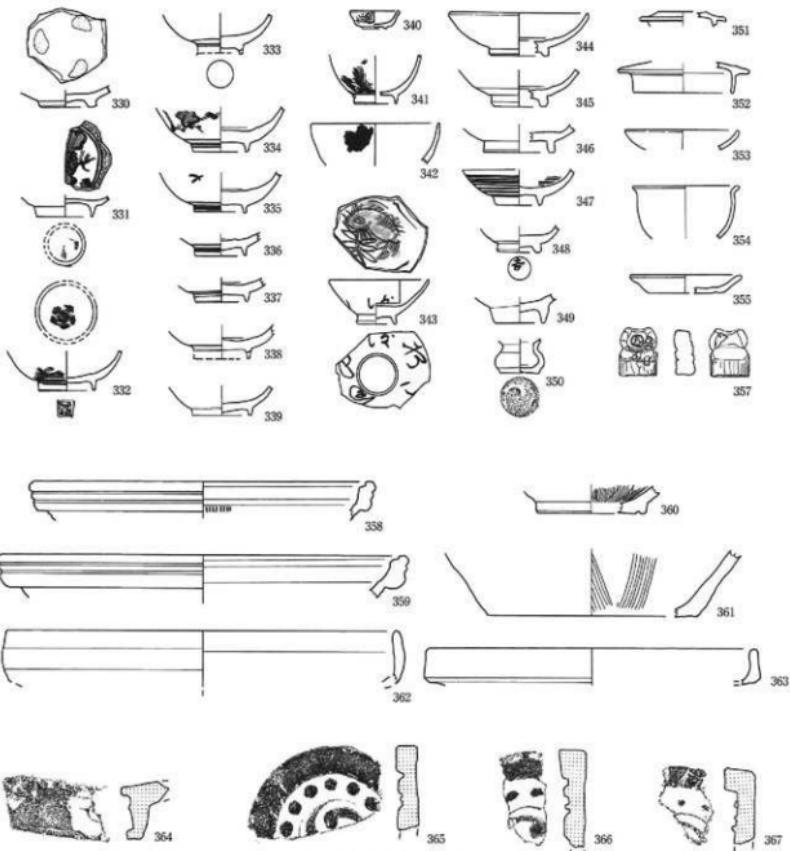
第22図 出土遺物（8）

1078年)、328は判読不能である。

風招（329）最大幅8.10cm、高さ3.50cm、厚さ1.80～2.20cmを測る青銅製金張の小型の風招である。裏面は剥離が著しいものの表面は全面鍍金が施されていた痕跡が見られる。両端が大きく外湾し中央はV字状に大きく抉れた形状を示す。吊金具と接続する孔は招身中央部に穿たれ、径3mm×5.5mmを測る。出土地点は1区の中世掘立柱建物の密集する地区である。包含層からの出土であり、直接特定の遺構や原位置を保って検出されたものではない。本風招は他の寺院関連の出土遺物と比較すると小振りであり、出土状況も良好ではないが、中世期を示す風招の事例として特筆すべきものである。極めて小型であることや、その形態、検出された包含層の遺物構成から室町時代の所産と考えられる。

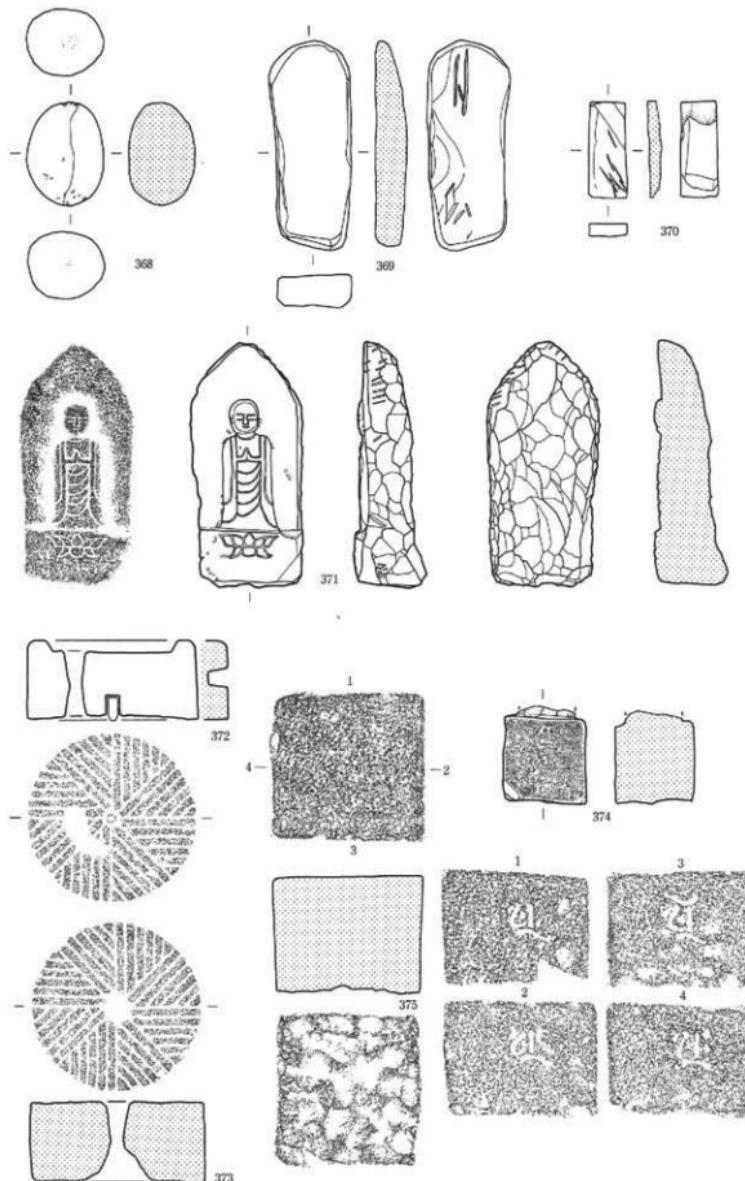
近世陶磁器（330～363）330は見込みに砂目が3個ある16世紀代の陶器碗である。331～342は染付け碗である。波佐見系が多く、見込みに蛇の目釉剥ぎが認められる18世紀以降の磁器である。343は江戸時代後期の「めでた杯」の類である。347は唐津碗、348と349は京風の陶器碗である。351と352は土瓶の蓋である。在地色の強い製品で產地等の詳細は不明である。355は土師質の皿で、口縁に煤が付着しており灯明皿と思われる。357は鍋をもった大黒の土製品である。358～361は堺産の拂り鉢である。362と363は熔培である。いずれも型作りで、底部は薄く復元は困難である。

瓦（364～367）包含層中から瓦が数点出土している。細片のため図示はできないが中世期に遡ると考えられる内面布目の丸瓦が認められる。検出された掘立柱建物群に瓦が伴うものがあるかについては不明である。近世～現代の瓦もわずかではあるが出土している。364は軒平瓦で唐草文が僅かに確認できる。365～367は巴文と珠文から近世以降と考えられる軒丸瓦である。453は「泉谷川」の刻印があり、現在の泉南郡岬町産の瓦であることが判る。



第23図 出土遺物（9）

石製品（368～375）368は砂岩の磨り石である。地山直上からの出土で縄文～弥生時代のものと考えられる。風化が著しいが、表面に磨いた面と敲打痕が確認できる。369と370は砥石である。369は砂岩の自然石を利用している。370は粘板岩質の砥石である。371は江戸時代の石仏未製品である。転用材として水田の水口に用いられている。372と373は石臼である。阪南市では珍しい花崗岩製の石臼で、鉄芯を用いる事から近代以降の遺物と考えられる。374は砂岩の一石五輪塔である。375は砂岩の五輪塔地輪である。



第24図 出土遺物 (10)

## 第4章 まとめ



第25図 箱作遺跡変遷図

発掘調査は足かけ4年に及び、調査区は41箇所に達した。区画整理事業地内における周知の埋蔵文化財包蔵地の面積は約105,000m<sup>2</sup>であるが、その内記録保存のための発掘調査が必要とされた約27,000m<sup>2</sup>の内、15,400m<sup>2</sup>について今回調査が完了したことになる。出土遺物はコンテナ60箱である。

これまで表面採取の遺物から漠然と縄文時代から江戸時代の複合集落として認識されてきた箱作今池遺跡は、今回の発掘調査で国道26号より山側の遺跡の東側の全体像が把握された。小規模な調査区の積み上げではあるが、この調査によって遺跡の性格や時期とその範囲が一定明らかとなる新知見を蓄積する事が出来た。この地に奈良時代の掘立柱建物が築造されて以降、室町時代には大規模な土地改変がなされ周辺の景観変化が認められる。さらに江戸時代に生産域になると從来建物を建てていた部分も畑や水田となりさらに景観は一変する。これらの新知見より得られた事を概観しまとめとしたい。

### 1 縄文時代～弥生時代

今回の調査では遺構は検出されていない。

奈良時代以前の自然流路内の最下層からは縄文～弥生時代の石器と弥生土器が出土している。石匙や石鎌は周辺地域の狩猟採取生活を物語るもので、分布的には丘陵の突端部に集中している事が指摘される。旧地形を復元的に検討すると傾斜面は37区、23区より東側は丘陵上というより山地に近いものと考えられ、遺物の分布密度も希薄な状況を示している。

弥生土器は奈良時代以前の自然流路以外にも中世の包含層から甕底部などが僅かではあるが確認されており、河岸段丘上に生活を営んだ可能性も想定される。しかしながら石包丁など生産を示す遺物は検出されず、明確には弥生時代の状況は依然として明らかにするには至っていない。

### 2 古墳時代

当該地において古墳時代の遺物は、中世包含層から検出された甕の口縁片や杯蓋等、若干の須恵器のみである。箱作今池遺跡のみならず、阪南市域においては古墳以外に古墳時代の集落等の生

活域は明確には確認されておらず、現状では古墳時代の遺跡が希薄な地域である。市域に存在する玉田山古墳・塚谷古墳・箱作古墳などから古墳時代中期以降の集落の存在は十分想定されるにも関わらず、その実態については依然不明な点が多い。

本調査後実施された阪南市教育委員会による発掘調査において、今回報告する25区に近い部分で古墳時代後期の石室が新たに4基検出されている。

### 3 奈良時代

7区を中心に掘立柱建物群が検出された。阪南市域では昭和58年の田山遺跡に次ぐ事例で、特定の狭小な範囲に遺構が集中することや、建て替えを含め継続的に一定規模の建物群が形成されていることなどは特筆すべき調査成果と言える。その範囲は北限は7区、南限が26区、東限は18区そして西限が41区と、極めて限られた範囲に掘立柱建物群が形成されている事が明らかとなった。現在の国道26号の南側に展開された奈良時代の遺構分布範囲は、南北150m、東西80mと推定される。この範囲には自然流路や段丘斜面は検出されず、シルト質で比較的平坦な地山面で構成されており、地盤が堅固な好条件の区域に立地していることが指摘される。しかし検出された柱穴群に対し復元し得た建物はわずかであるとともに井戸等の付帯施設が検出されない点など、これら方形のやや規模の大きい掘方をもつ柱穴で構成される掘立柱建物群の性格については、多くの課題を残す結果と言わざるを得ない。ただし地形的制約を受けつつも、自然流路を避けて段丘上に縦柱建物を中心として掘立柱建物を継続的に集中して構築することから、おそらく建物群の形成に当たっては好条件の段丘上面に当たる場所を意図的に選定していると考えられ、何らかの統制をもって形成された遺構群との見解を現時点では示しておきたい。

### 4 平安時代

奈良時代の掘立柱建物群の存続時期である。7区周辺の包含層からは平安時代の黒色土器や製塩土器が出土しており、掘立柱建物群の終焉時期が問題として残される。確実に平安時代の遺構と判断されるものは検出されてはいないが、全域から黒色土器や北宋銭等の出土品が認められ、何らかの生活或いは活動が継続されたことが窺われる。38区では縄釉陶器片も確認されている。当該調査地より西に約400mの浜街道沿いに位置する箱作西村の加茂神社の社記によれば、弘仁4年（813年）に山城国賀茂神社からタマヨリヒメノミコトを分祀したとある。また平安時代末の文書「菅作庄」に残る記載からも当時この周辺が京都賀茂神社社領であったことが知られ、縄釉陶器の出土などに関連する当該地の往時の状況も十分に想定される状況が窺われる。しかしながら平安時代「菅作庄」の立莊については今回の調査から直接関連する状況を検出するには至らなかった。箱作今池遺跡の西側に位置する田山地区においては「九ノ坪」など、東側の貝掛地区にも条里制を窺わせる字名と地割りが確認されるが、当該地に莊園との関連を指摘し得る字名ではなく、また整然とした区画の水田や地割りも認められない。泉州地域においては、泉佐野市所在の「日根莊」に並ぶ重要な地域と考えられ、今後、発掘調査成果のみならず絵図や古文書等の詳細な再検討など、当該時期の多角的な検証があらためて必要と言える。

### 4 鎌倉時代～室町時代

中世期に入ると、自然地形を残していた以前の牧歌的とも言える景観を一変する程の大規模な造成が行われている。数百年にわたり存在していた大小の自然流路は大規模な整地層によって埋め立てられ、

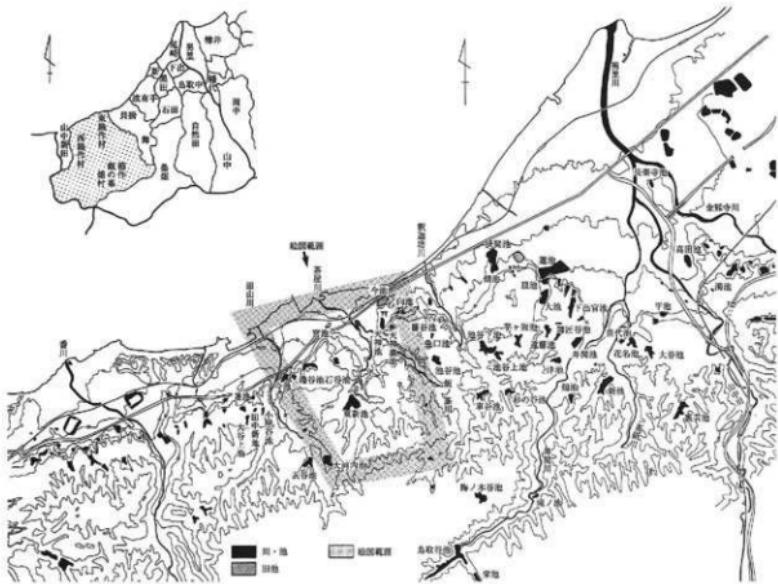


第26図 泉州地方 莊園名分布図

段丘斜面を削り出して平地化し、水路を整えれば全城を耕地化している。傾斜地の開発を行うためこれらの整地に用いられた大量の土砂が移動し、瓦器や土師器、輸入陶磁器といった土器類や錢など12~16世紀の遺物を中心に箱作今池遺跡の出土遺物の9割の遺物がこうした整地層や水田耕作層などの遺物包含層から出土している。今回の発掘調査では、自然流路底部や包含層中に須恵質鉢や黒色土器など12世紀以前の遺物もまた含まれている。従って検出されたピット群には平安時代に遡る建物の可能性や中世の造成によって平安時代の建物が破壊されている可能性も指摘し得るが、明確な遺構面として捉えるには至っていない。

中世期の耕地化が以降の生産基盤となっており、徐々に拡大しながら現在に至るまで連続とした耕作の痕跡を追う事が可能である。調査区中央で検出された中世以前の大溝は、箱作今池遺跡を縱走するように全域で検出される自然流路で、室町時代に完全に埋め立てられている。埋土からは縄文時代～室町時代の遺物が検出されている。

生産域の拡大と共に、集落と寺院も充実したものとなっている。現在の駅前線に当たる部分を中心とする1区・2区・5区・11区に中世期の遺構が集中して検出されている。いずれも砂礫層を避け一段高いシルト層上面で確認される。屋敷に相当する建物は円形の柱穴を持つ掘立柱建物群で、溝で区画された中に夥しい数の柱穴が検出された。時期的にも長期に渡っており、また継続的に建て替えも行われていたと考えられる。これらの掘立柱建物群には、周辺から瓦や風招といった遺物を伴うものがあり、他の建物とあまり様相を異にしない円形の柱穴を持つではあるが寺院が想定されるものも認められる。特に莊嚴具としての風招の存在は特筆すべきものであり、中世期に至っての各地における中小の寺院の展開を検討する上で、構成する建物の規模や構造といった点で新たな視点を示し得る事例として注目される。



第27図 江戸時代 箱作村絵図（山中龍朗氏文書 天保18年）

当該中世遺構群に関しては、東側の微高地上に奈良時代には既に掘立柱建物群が形成されているため当時一定の開発は進んでいたと考えることが出来る。その後中世期に莊園開発が各地に浸透する時期に至って、周辺を含めこの地区が中心となった可能性は高いものと見ることができる。こうした状況の下、中世集落の中心地の外側では生産域である耕地化が拡大しており、今回の調査成果からもそうした変遷をたどる事が一定可能である。海浜部に近い事から、水田の他に漁労活動についても重要な位置を占めていたことは、土鍤や銷壺が多量に出土する状況からも別の本遺跡の側面として窺うことができるものと言える。

## 5 江戸時代

調査区全域で江戸時代の鶴溝や水平に堆積する耕作土、水路や暗渠、井戸等の水利施設が検出された。前時代にはほぼ整えられた水田・畑・水路を踏襲する形で全域で耕地拡大に努めている。25地区以外は全て第一遺構面には近～現代の水田等の耕作土層や畑の鶴溝が検出されている。また絵図や古文書からは当該時期に天神池の存在も確認することができ、集落単位の灌漑用水の管理も確実なものとなっていることが窺われる。飯の峯川は、開析された谷地形を出ると僅かばかりの平地を蛇行する小河川で、川の左右や低地部分は水を引き込めて、中位段丘面上に開発された水田への灌漑にはやはり溜め池の造成で補わなければ必要量の確保は難しかったと思われ天神池の他、小規模な池が点在している。

本遺跡の南方約1kmには江戸時代後期に操業していた石切場が確認されており、そこで廃棄された和泉砂岩の石臼や一石五輪塔が水路の水口や石垣に転用されている。当時の主たる産業としての農業や漁業以外に農閑期を中心とした副業の一端がこうした点に垣間見え、本遺跡を取り巻く環境が窺われる。

江戸時代には浜街道が整備され、中心的集落は海側に移動するようで、調査区内からは屋敷等を構成する柱穴や石垣などの構造物は認められなくなる。記録として残る現在の崇福寺の移築時期の記載や集落の起源からも近世後半には現在の箱作東村（第27図）に相当する位置に集落の中心が移されたものと思われる。

当センターが実施した箱作今池遺跡の発掘調査の成果は上述のとおりであるが、当該事業に関する擁壁部分や埋管、公園部分の調査は、阪南市教育委員会が引き続き実施する予定である。

## 参考文献

- (財)大阪府埋蔵文化財協会 第9輯「阪南丘陵埋蔵文化財発掘調査報告書」(財)大阪府埋蔵文化財協会 1987  
阪南市埋蔵文化財報告Ⅳ「箱作今池遺跡」阪南市教育委員会 1998  
大阪文化財研究第9号「箱作今池遺跡出土の莊器とその意義－古代～中世寺院の予察－」(財)大阪府文化財調査研究センター 1995

○遺物のみ（包含層含む）

検出遺構および出土遺物一覧表

物種	俗名	地點	年 代	標本 號	性別	尺寸	特徵	時代	備考
1. 銀杏	銀杏	16-1	新石器	7.6	大B-1	8.1.10.1.T	雄 5.5cm 穗狀花序	新石器時代	新石器時代
2. 桃	桃	7	大B-1	8.1.10.NU	(102-1-00)	5	17 口徑15.8 底徑11.6 高5.1	新石器時代	新石器時代
3. 梨	梨	2	大B-1	8.1.10.1.P	第5.5穗狀花序 C.1239-Q.P	5	18 口徑17.0 底徑14.5	新石器時代	新石器時代
4. 梅	梅	2	大B-1	8.1.10.1.P	第5.5穗狀花序 C.1239-Q.P	5	18 口徑17.0 底徑14.8	新石器時代	新石器時代
5. 榆	榆	6	大B-1	8.1.10.1.P	第6穗狀花序 A.1012.Q.O	5	18 口徑15.0 底徑8.5	新石器時代	新石器時代
6. 榆	榆	7	大B-1	8.1.10.1.P	第6穗狀花序 A.1012.Q.O	5	21 口徑15.8 底徑5.4	新石器時代	新石器時代
7. 榆	榆	7.8	A.B-1	8.1.10.P	第6穗狀花序 A.1012.Q.O.P	6	18 口徑9.9 底徑4.3	新石器時代	新石器時代
8. 榆	榆	7.8	A.B-1	8.1.10.P	第6穗狀花序 A.1012.Q.O.P	6	18 口徑9.9 底徑4.0	新石器時代	新石器時代
9. 榆	榆	7.8	A.B-1	8.1.10.P	第6穗狀花序 A.1012.Q.O.P	6	19 口徑17.0 底徑6.5	新石器時代	新石器時代
10. 榆	榆	7.8	A.B-1	8.1.10.P	第6穗狀花序 A.1012.Q.O.P	6	19 口徑17.6 底徑6.4	新石器時代	新石器時代
11. 榆	榆	7.8	A.B-1	8.1.10.P	第6穗狀花序 A.1012.Q.O.P	6	19 口徑17.6 底徑6.9	新石器時代	新石器時代
12. 榆	榆	27.6	A.B-2	8.1.11.G	第12穗狀花序 A.3220-Q.S	12	28 口徑2.4 底徑0.6 長66.0 寬46.0 厚2.6	新石器時代	新石器時代
13. 杜仲	杜仲	1.8	A.B-2	8.1.11.Q	第18	13	26 長66.0 寬23.2	生	生
14. 七葉豆	七葉豆	205(1)	A.B-2	8.1.17.MC	第19穗狀花序	14	26 長67.0	陳	陳
15. 七葉豆	七葉豆	205(2)	A.B-2	8.1.17.MC	第19穗狀花序	14	-	大孢子	大孢子
16. 七葉豆	七葉豆	204(2)	A.B-2	8.1.17.QA	第19穗狀花序	14	14 水、木、植物 水、木、植物	水、木、植物	水、木、植物
17. 七葉豆	七葉豆	7	A.B-2	8.1.10.NV	第19穗狀花序	14	14 水、木、植物 水、木、植物	水、木、植物	水、木、植物
18. 9-11月 條子	條子	7	A.B-2	8.1.10.NV	第19穗狀花序	15	16 水、木、植物 水、木、植物	水、木、植物	水、木、植物
19. 9-11月 條子	條子	2	A.B-2	8.1.10.NV	第19穗狀花序	15	16 水、木、植物 水、木、植物	水、木、植物	水、木、植物
20. 9-11月 條子	條子	18.8	A.B-2	8.1.10.EE	第19穗狀花序	15	16 水、木、植物 水、木、植物	水、木、植物	水、木、植物
21. 9-11月 條子	條子	21	A.B-2	8.1.10.EE	第19穗狀花序	15	16 水、木、植物 水、木、植物	水、木、植物	水、木、植物
22. 9-11月 條子	條子	7	A.B-2	8.1.10.EE	第19穗狀花序	15	17 水、木、植物 水、木、植物	水、木、植物	水、木、植物
23. 9-11月 條子	條子	9	A.B-2	8.1.10.EE	第19穗狀花序	15	17 水、木、植物 水、木、植物	水、木、植物	水、木、植物
24. 9-11月 條子	條子	7	A.B-2	8.1.10.EE	第19穗狀花序	15	17 水、木、植物 水、木、植物	水、木、植物	水、木、植物
25. 9-11月 條子	條子	9	A.B-2	8.1.10.EE	第19穗狀花序	15	17 水、木、植物 水、木、植物	水、木、植物	水、木、植物
26. 9-11月 條子	條子	16.8	A.B-2	8.1.10.EE	第19穗狀花序	15	17 水、木、植物 水、木、植物	水、木、植物	水、木、植物
27. 9-11月 條子	條子	27.6	A.B-2	8.1.10.EE	第19穗狀花序	15	-	口徑8.0 底徑3.2	口徑8.0 底徑3.2
28. 9-11月 條子	條子	7.8	A.B-2	8.1.10.EE	第19穗狀花序	15	-	口徑8.0 底徑3.2	口徑8.0 底徑3.2
29. 9-11月 條子	條子	27.6	A.B-2	8.1.10.EE	第19穗狀花序	15	-	口徑8.0 底徑3.2	口徑8.0 底徑3.2
30. 9-11月 條子	條子	11.8	A.B-2	8.1.10.EE	第19穗狀花序	15	-	口徑8.0 底徑3.2	口徑8.0 底徑3.2
31. 9-11月 條子	條子	1.8	A.B-2	8.1.10.EE	第19穗狀花序	15	18 長4.4 寬2.45 厚1.6	厚1.6	厚1.6
32. 9-11月 條子	條子	5.6	A.B-2	8.1.10.Q	第19穗狀花序	15	-	口徑3.9-3.1 厚1.6	厚1.6
33. 9-11月 條子	條子	27.6	A.B-2	8.1.11.E	第19穗狀花序	15	-	口徑4.2 厚1.6	厚1.6
34. 9-11月 條子	條子	1.8	A.B-2	8.1.10.Q	第19穗狀花序	15	-	口徑2.6 厚0.8	厚0.8
35. 9-11月 條子	條子	8.8	A.B-2	8.1.11.Q	第19穗狀花序	15	-	口徑2.6 厚0.75	厚0.75
36. 9-11月 條子	條子	12.6	A.B-2	8.1.10.QY	第19穗狀花序	15	-	口徑2.6 厚0.75	厚0.75
37. 9-11月 條子	條子	12.6	A.B-2	8.1.10.QY	第19穗狀花序	15	-	口徑2.6 厚0.75	厚0.75
38. 9-11月 條子	條子	11.8	A.B-2	8.1.10.QY	第19穗狀花序	15	-	口徑2.6 厚0.75	厚0.75
39. 9-11月 條子	條子	11.8	A.B-2	8.1.10.QY	第19穗狀花序	15	-	口徑2.6 厚0.75	厚0.75
40. 9-11月 條子	條子	7.8	A.B-2	8.1.10.QP	第19穗狀花序	15	-	口徑2.6 厚0.75	厚0.75
41. 9-11月 條子	條子	11.8	A.B-2	8.1.10.QP	第19穗狀花序	15	-	口徑2.6 厚0.75	厚0.75
42. 9-11月 條子	條子	11.8	A.B-2	8.1.10.QP	第19穗狀花序	15	-	口徑2.6 厚0.75	厚0.75
43. 9-11月 條子	條子	11.8	A.B-2	8.1.10.QP	第19穗狀花序	15	-	口徑2.6 厚0.75	厚0.75
44. 9-11月 條子	條子	11.8	A.B-2	8.1.10.QP	第19穗狀花序	15	-	口徑2.6 厚0.75	厚0.75
45. 9-11月 條子	條子	11.8	A.B-2	8.1.10.QP	第19穗狀花序	15	-	口徑2.6 厚0.75	厚0.75
46. 9-11月 條子	條子	7.8	A.B-2	8.1.10.QP	第19穗狀花序	15	-	口徑2.6 厚0.75	厚0.75
47. 9-11月 條子	條子	7.8	A.B-2	8.1.10.QP	第19穗狀花序	15	-	口徑2.6 厚0.75	厚0.75
48. 9-11月 條子	條子	4.8	A.B-2	8.1.10.QP	第19穗狀花序	15	-	口徑2.6 厚0.75	厚0.75
49. 9-11月 條子	條子	4.8	A.B-2	8.1.10.QP	第19穗狀花序	15	-	口徑2.6 厚0.75	厚0.75
50. 9-11月 條子	條子	1.8	A.B-2	8.1.10.QP	第19穗狀花序	15	-	口徑2.6 厚0.75	厚0.75
51. 9-11月 條子	條子	1.8	A.B-2	8.1.10.QP	第19穗狀花序	15	-	口徑2.6 厚0.75	厚0.75
52. 9-11月 條子	條子	3.2	A.B-2	8.1.10.QP	第19穗狀花序	15	-	口徑2.6 厚0.75	厚0.75
53. 9-11月 條子	條子	1.8	A.B-2	8.1.10.QP	第19穗狀花序	15	-	口徑2.6 厚0.75	厚0.75
54. 9-11月 條子	條子	1.8	A.B-2	8.1.10.QP	第19穗狀花序	15	-	口徑2.6 厚0.75	厚0.75
55. 9-11月 條子	條子	1.8	A.B-2	8.1.10.QP	第19穗狀花序	15	-	口徑2.6 厚0.75	厚0.75
56. 9-11月 條子	條子	1.8	A.B-2	8.1.10.QP	第19穗狀花序	15	-	口徑2.6 厚0.75	厚0.75
57. 土地質	土壤土質	7.8	A.B-2	8.1.10.QV	第19穗狀花序	15	18 長4.6 寬2.0 厚0.6	厚0.6	厚0.6
58. 土地質	土壤土質	4.8	A.B-2	8.1.10.QF	第19穗狀花序	15	18 長4.6 寬2.0 厚0.6	厚0.6	厚0.6

第2表 出土遺物一覽表(2)

時代									
地図		標高		面積		面積		面積	
年	月	標高(m)	標高(m)	面積(ha)	面積(ha)	面積(ha)	面積(ha)	面積(ha)	面積(ha)
117	11月	305	305	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
118	1月	304	304	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
119	2月	303	303	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
120	3月	302	302	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
121	4月	301	301	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
122	5月	300	300	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
123	6月	299	299	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
124	7月	298	298	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
125	8月	297	297	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
126	9月	296	296	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
127	10月	295	295	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
128	11月	294	294	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
129	12月	293	293	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
130	1月	292	292	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
131	2月	291	291	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
132	3月	290	290	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
133	4月	289	289	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
134	5月	288	288	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
135	6月	287	287	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
136	7月	286	286	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
137	8月	285	285	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
138	9月	284	284	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
139	10月	283	283	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
140	11月	282	282	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
141	12月	281	281	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
142	1月	280	280	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
143	2月	279	279	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
144	3月	278	278	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
145	4月	277	277	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
146	5月	276	276	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
147	6月	275	275	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
148	7月	274	274	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
149	8月	273	273	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
150	9月	272	272	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
151	10月	271	271	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
152	11月	270	270	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
153	12月	269	269	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
154	1月	268	268	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
155	2月	267	267	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
156	3月	266	266	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
157	4月	265	265	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
158	5月	264	264	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
159	6月	263	263	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
160	7月	262	262	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
161	8月	261	261	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
162	9月	260	260	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
163	10月	259	259	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
164	11月	258	258	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
165	12月	257	257	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
166	1月	256	256	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
167	2月	255	255	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
168	3月	254	254	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
169	4月	253	253	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
170	5月	252	252	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
171	6月	251	251	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
172	7月	250	250	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
173	8月	249	249	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
174	9月	248	248	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
175	10月	247	247	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
176	11月	246	246	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
177	12月	245	245	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
178	1月	244	244	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
179	2月	243	243	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
180	3月	242	242	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
181	4月	241	241	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
182	5月	240	240	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
183	6月	239	239	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
184	7月	238	238	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
185	8月	237	237	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
186	9月	236	236	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
187	10月	235	235	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
188	11月	234	234	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
189	12月	233	233	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
190	1月	232	232	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
191	2月	231	231	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
192	3月	230	230	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
193	4月	229	229	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
194	5月	228	228	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
195	6月	227	227	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
196	7月	226	226	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
197	8月	225	225	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
198	9月	224	224	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
199	10月	223	223	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
200	11月	222	222	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
201	12月	221	221	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
202	1月	220	220	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
203	2月	219	219	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
204	3月	218	218	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
205	4月	217	217	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
206	5月	216	216	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
207	6月	215	215	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
208	7月	214	214	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
209	8月	213	213	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
210	9月	212	212	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
211	10月	211	211	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
212	11月	210	210	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
213	12月	209	209	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
214	1月	208	208	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
215	2月	207	207	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
216	3月	206	206	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
217	4月	205	205	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
218	5月	204	204	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
219	6月	203	203	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
220	7月	202	202	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
221	8月	201	201	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
222	9月	200	200	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
223	10月	199	199	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
224	11月	198	198	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
225	12月	197	197	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
226	1月	196	196	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
227	2月	195	195	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
228	3月	194	194	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
229	4月	193	193	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
230	5月	192	192	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
231	6月	191	191	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
232	7月	190	190	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
233	8月	189	189	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
234	9月	188	188	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
235	10月	187	187	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
236	11月	186	186	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
237	12月	185	185	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
238	1月	184	184	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
239	2月	183	183	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
240	3月	182	182	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
241	4月	181	181	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
242	5月	180	180	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
243	6月	179	179	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
244	7月	178	178	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
245	8月	177	177	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
246	9月	176	176	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
247	10月	175	175	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
248	11月	174	174	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
249	12月	173	173	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
250	1月	172	172	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
251	2月	171	171	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
252	3月	170	170	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
253	4月	169	169	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
254	5月	168	168	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
255	6月	167	167	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
256	7月	166	166	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
257	8月	165	165	1.8</td					

第2表 出土遺物一覽表 (3)

遺物 名稱	性 別	年 代	地 點	層 位	數 量		規 格		性 質	分 類	性 能	代 號
					數	件	長	寬				
175 扇形 鏡		唐	7.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿17.6 鏡背23.4 鏡面25.4 直徑55.4	鏡	鏡	175
176 扇形 鏡		唐	9.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿18.6 鏡背26.7 鏡面33.6	鏡	鏡	176
177 扇形 鏡		唐	7.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿18.8 鏡背26.9 鏡面33.6	鏡	鏡	177
178 扇形 鏡		唐	7.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿18.8 鏡背26.9 鏡面33.6	鏡	鏡	178
179 扇形 鏡		唐	7.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿18.8 鏡背26.9 鏡面33.6	鏡	鏡	179
180 扇形 鏡		唐	7.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿18.8 鏡背26.9 鏡面33.6	鏡	鏡	180
181 扇形 鏡		唐	18.0	-1-2-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿2.2 直徑5.0 鏡面5.9	鏡	鏡	181
182 扇形 鏡		唐	27.0	-1-2-1.0	2.0	2.0	-	-	口折沿4.9 鏡面7.4	鏡	鏡	182
183 扇形 鏡		唐	11.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿5.2 鏡面4.2	鏡	鏡	183
184 扇形 鏡		唐	11.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿5.2 鏡面4.2	鏡	鏡	184
185 扇形 鏡		唐	9.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿6.0 鏡面5.0	鏡	鏡	185
186 扇形 鏡		唐	9.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿6.0 鏡面5.0	鏡	鏡	186
187 扇形 鏡		唐	11.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿6.0 鏡面5.0	鏡	鏡	187
188 扇形 鏡		唐	11.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿6.0 鏡面5.0	鏡	鏡	188
189 扇形 鏡		唐	24.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿8.1 鏡面8.1	鏡	鏡	189
190 扇形 鏡		唐	9.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿8.1 鏡面8.1	鏡	鏡	190
191 扇形 鏡		唐	4.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿8.1 鏡面8.1	鏡	鏡	191
192 扇形 鏡		唐	1.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿8.1 鏡面8.1	鏡	鏡	192
193 扇形 鏡		唐	1.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿8.1 鏡面8.1	鏡	鏡	193
194 扇形 鏡		唐	2.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿8.1 鏡面8.1	鏡	鏡	194
195 扇形 鏡		唐	2.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿8.1 鏡面8.1	鏡	鏡	195
196 扇形 鏡		唐	2.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿8.1 鏡面8.1	鏡	鏡	196
197 扇形 鏡		唐	2.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿8.1 鏡面8.1	鏡	鏡	197
198 扇形 鏡		唐	2.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿8.1 鏡面8.1	鏡	鏡	198
199 扇形 鏡		唐	2.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿8.1 鏡面8.1	鏡	鏡	199
200 扇形 鏡		唐	2.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿8.1 鏡面8.1	鏡	鏡	200
201 扇形 鏡		唐	2.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿8.1 鏡面8.1	鏡	鏡	201
202 扇形 鏡		唐	2.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿8.1 鏡面8.1	鏡	鏡	202
203 扇形 鏡		唐	2.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿8.1 鏡面8.1	鏡	鏡	203
204 扇形 鏡		唐	2.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿8.1 鏡面8.1	鏡	鏡	204
205 扇形 鏡		唐	2.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿8.1 鏡面8.1	鏡	鏡	205
206 扇形 鏡		唐	2.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿8.1 鏡面8.1	鏡	鏡	206
207 扇形 鏡		唐	2.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿8.1 鏡面8.1	鏡	鏡	207
208 扇形 鏡		唐	2.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿8.1 鏡面8.1	鏡	鏡	208
209 扇形 鏡		唐	2.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿8.1 鏡面8.1	鏡	鏡	209
210 扇形 鏡		唐	2.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿8.1 鏡面8.1	鏡	鏡	210
211 扇形 鏡		唐	2.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿8.1 鏡面8.1	鏡	鏡	211
212 扇形 鏡		唐	2.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿8.1 鏡面8.1	鏡	鏡	212
213 扇形 鏡		唐	2.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿8.1 鏡面8.1	鏡	鏡	213
214 扇形 鏡		唐	2.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿8.1 鏡面8.1	鏡	鏡	214
215 扇形 鏡		唐	9.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿17.6 鏡背23.4 鏡面25.4 直徑55.4	鏡	鏡	215
216 扇形 鏡		唐	1.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿18.6 鏡背26.7 鏡面33.6	鏡	鏡	216
217 扇形 鏡		唐	1.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿18.8 鏡背26.9 鏡面33.6	鏡	鏡	217
218 扇形 鏡		唐	5.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿18.8 鏡背26.9 鏡面33.6	鏡	鏡	218
219 扇形 鏡		唐	2.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿18.8 鏡背26.9 鏡面33.6	鏡	鏡	219
220 扇形 鏡		唐	1.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿18.8 鏡背26.9 鏡面33.6	鏡	鏡	220
221 扇形 鏡		唐	3.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿18.8 鏡背26.9 鏡面33.6	鏡	鏡	221
222 扇形 鏡		唐	1.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿18.8 鏡背26.9 鏡面33.6	鏡	鏡	222
223 扇形 鏡		唐	1.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿18.8 鏡背26.9 鏡面33.6	鏡	鏡	223
224 扇形 鏡		唐	1.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿18.8 鏡背26.9 鏡面33.6	鏡	鏡	224
225 扇形 鏡		唐	1.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿18.8 鏡背26.9 鏡面33.6	鏡	鏡	225
226 扇形 鏡		唐	1.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿18.8 鏡背26.9 鏡面33.6	鏡	鏡	226
227 扇形 鏡		唐	1.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿18.8 鏡背26.9 鏡面33.6	鏡	鏡	227
228 扇形 鏡		唐	1.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿18.8 鏡背26.9 鏡面33.6	鏡	鏡	228
229 扇形 鏡		唐	1.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿18.8 鏡背26.9 鏡面33.6	鏡	鏡	229
230 扇形 鏡		唐	1.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿18.8 鏡背26.9 鏡面33.6	鏡	鏡	230
231 扇形 鏡		唐	1.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿18.8 鏡背26.9 鏡面33.6	鏡	鏡	231
232 扇形 鏡		唐	1.0	-1-1.0	1.0	1.0	-	-	口折沿18.8 鏡背26.9 鏡面33.6	鏡	鏡	232

第2表 出土遺物一覽表 (4)

物種	分類	物種	分類	物種	分類	物種	分類	時代
233. 俗鶲	鳥類	1.6. 大B 1 - 8.1.5 AP	魚類	魚 0.1.3 鯉	-	鯉台灣鯉 4.8 鯉 2.1	-	新石器
6. 小B 1 - 8.1.20 CO	魚類	2.6. 小B 1 - 8.1.5 WL	魚類	1.9. -	高台鯉 5.5 鯉 2.4	-	新石器	
335. 小B 1 - 8.1.5 WL	魚類	3.8. 小B 1 - 8.1.5 WL	魚類	1.9. -	高台鯉 5.4 鯉 1.8	-	新石器	
298. 俗鶲	鳥類	8. 小B 1 - 8.1.5 WL	魚類	1.9. -	高台鯉 6.5 鯉 2.1	-	新石器	
337. 俗鶲	鳥類	25.6. 大B 1 - 8.1.5 QW	魚類	2.0. -	口仔魚 6.6 鯉 2.2	-	新石器	
228. 俗鶲	鳥類	5.6. 大B 1 - 8.1.5 TW	魚類	2.0. -	口仔魚 6.6 鯉 2.2	-	新石器	
229. 俗鶲	鳥類	1.6. 大B 1 - 8.1.5 WL	魚類	2.0. -	口仔魚 14.7 鯉 25.1	-	新石器	
240. 俗鶲	鳥類	35.6. 大B 1 - 8.1.5 QW	魚類	2.0. -	口仔魚 1.1 鯉 2.1	-	新石器	
241. 俗鶲	鳥類	2.6. 大B 1 - 8.1.5 WL	魚類	2.0. -	口仔魚 0.0 鯉 0.0	-	新石器	
242. 俗鶲	鳥類	3.6. 大B 1 - 8.1.5 WL	魚類	2.0. -	口仔魚 0.2 鯉 0.2	-	新石器	
243. 俗鶲	鳥類	12.6. 大B 1 - 8.1.09 YU	魚類	2.0. -	口仔魚 0.7 鯉 0.7	-	新石器	
244. 俗鶲	鳥類	40.6. 大B 1 - 8.1.09 GO	魚類	2.0. -	口仔魚 6.3 鯉 6.3	-	新石器	
245. 俗鶲	鳥類	5.6. 大B 1 - 8.1.5 TW	魚類	2.0. -	口仔魚 5.8 鯉 5.9	-	新石器	
246. 俗鶲	鳥類	9.6. 大B 1 - 8.1.5 AR	魚類	2.0. -	口仔魚 5.1 鯉 5.5	-	新石器	
248. 俗鶲	鳥類	40.6. 大B 1 - 8.1.09 GQ	魚類	2.0. -	口仔魚 5.0 鯉 5.5	-	新石器	
249. 俗鶲	鳥類	1.6. 大B 1 - 8.1.5 WL	魚類	2.0. -	口仔魚 4.0 鯉 5.5	-	新石器	
250. 俗鶲	鳥類	12.6. 大B 1 - 8.1.5 WL	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.5	-	新石器	
251. 俗鶲	鳥類	4.6. 大B 1 - 8.1.5 WL	魚類	2.0. -	口仔魚 6.0 鯉 6.4	-	新石器	
252. 俗鶲	鳥類	33.6. 大B 1 - 8.1.1 YC	魚類	2.0. -	口仔魚 6.6 鯉 6.6	-	新石器	
253. 俗鶲	鳥類	35.6. 大B 1 - 8.1.5 WL	魚類	2.0. -	口仔魚 6.3 鯉 6.6	-	新石器	
254. 俗鶲	鳥類	35.6. 大B 1 - 8.1.5 WL	魚類	2.0. -	口仔魚 6.5 鯉 6.5	-	新石器	
255. 俗鶲	鳥類	25.6. 大B 1 - 8.1.5 WL	魚類	2.0. -	口仔魚 6.1 鯉 6.1	-	新石器	
256. 俗鶲	鳥類	25.6. 大B 1 - 8.1.5 WL	魚類	2.0. -	口仔魚 6.0 鯉 6.0	-	新石器	
257. 俗鶲	鳥類	2.6. 大B 1 - 8.1.5 WL	魚類	2.0. -	口仔魚 6.0 鯉 6.6	-	新石器	
258. 俗鶲	鳥類	27.6. 大B 1 - 8.1.1 AL	魚類	2.0. -	口仔魚 3.4 鯉 3.4	-	新石器	
259. 俗鶲	鳥類	27.6. 大B 1 - 8.1.1 AL	魚類	2.0. -	口仔魚 6.0 鯉 6.6	-	新石器	
260. 俗鶲	鳥類	2.6. 大B 1 - 8.1.0 YU	魚類	2.0. -	口仔魚 6.0 鯉 6.6	-	新石器	
261. 俗鶲	鳥類	1.6. 大B 1 - 8.1.0 KW	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
262. 俗鶲	鳥類	3.6. 大B 1 - 8.1.0 KW	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
263. 俗鶲	鳥類	4.6. 大B 1 - 8.1.0 KW	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
265. 俗鶲	鳥類	1.6. 大B 1 - 8.1.5 QQ	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
266. 俗鶲	鳥類	3.6. 大B 1 - 8.1.5 AP	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
267. 俗鶲	鳥類	36.6. 大B 1 - 8.1.5 AP	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
268. 俗鶲	鳥類	36.6. 大B 1 - 8.1.5 WL	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
269. 俗鶲	鳥類	36.6. 大B 1 - 8.1.5 WL	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
270. 俗鶲	鳥類	3.6. 大B 1 - 8.1.5 WL	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
271. 俗鶲	鳥類	1.6. 大B 1 - 8.1.5 WL	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
272. 俗鶲	鳥類	1.6. 大B 1 - 8.1.5 WL	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
273. 俗鶲	鳥類	1.6. 大B 1 - 8.1.5 WL	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
274. 俗鶲	鳥類	1.6. 大B 1 - 8.1.5 WL	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
275. 俗鶲	鳥類	2.6. 大B 1 - 8.1.5 WL	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
276. 俗鶲	鳥類	10.6. 大B 1 - 8.1.5 WL	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
277. 俗鶲	鳥類	1.6. 大B 1 - 8.1.5 WL	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
278. 俗鶲	鳥類	1.6. 大B 1 - 8.1.5 WL	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
279. 俗鶲	鳥類	4.6. 大B 1 - 8.1.5 WL	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
280. 俗鶲	鳥類	10.6. 大B 1 - 8.1.5 WL	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
281. 俗鶲	鳥類	2.6. 大B 1 - 8.1.5 WL	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
282. 俗鶲	鳥類	1.6. 大B 1 - 8.1.5 WL	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
283. 俗鶲	鳥類	1.6. 大B 1 - 8.1.5 WL	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
284. 俗鶲	鳥類	9.6. 大B 1 - 8.1.0 QW	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
285. 俗鶲	鳥類	40.6. 大B 1 - 8.1.0 F	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
286. 俗鶲	鳥類	8.6. 大B 1 - 8.1.0 F	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
287. 俗鶲	鳥類	10.6. 大B 1 - 8.1.0 F	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
288. 俗鶲	鳥類	10.6. 大B 1 - 8.1.0 F	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
289. 俗鶲	鳥類	2.6. 大B 1 - 8.1.14 TW	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	
290. 俗鶲	鳥類	34.6. 大B 1 - 8.1.14 TW	魚類	2.0. -	口仔魚 6.2 鯉 6.2	-	新石器	

第2表 出土遺物一覽表 (5)

第2表 出土遺物一覽表 (6)

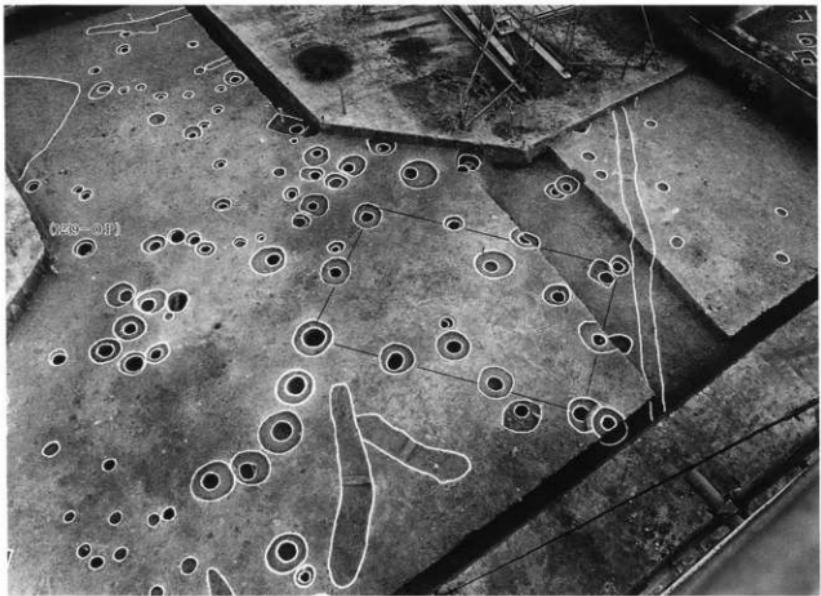
第2表 出土遺物一覽表(7)

第2表 出土遺物一覽表(8)

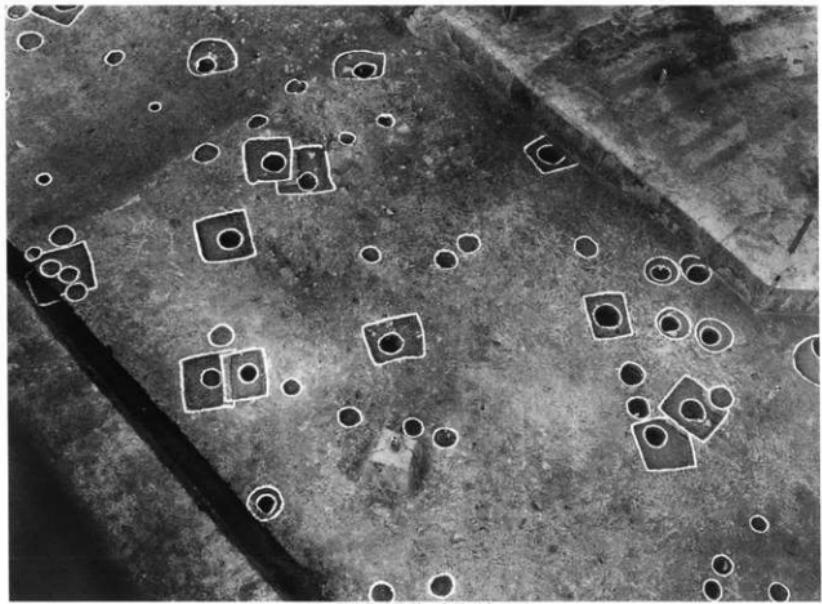
# 図 版



箱作駅前線



7区 挖立柱建物2、焼土坑6 全景（西から）



7区 挖立柱建物群 全景（南から）



7区 掘立柱建物 1・2・3・4 全景（北西から）



7区 掘立柱建物 3・4、焼土坑 6 全景（南東から）



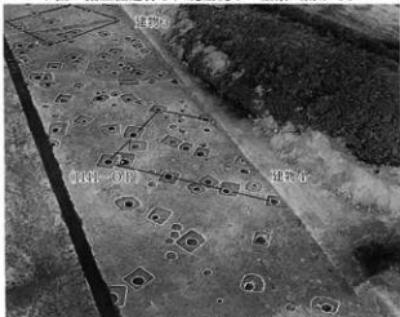
7区 遺構掘削状況（南西から）



7区 掘立柱建物1、焼土坑6 全景（南から）



7区 遺構検出状況（南から）



7区 掘立柱建物3・4 全景（南から）



7区 掘立柱建物4 全景（南東から）



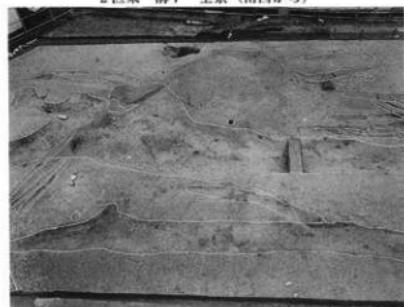
7区 掘立柱建物3・4 全景（南から）



2区東 溝7 全景（南西から）



1区 挖立柱建物13・14・15、溝17・18 全景（北から）



2区東 溝7 全景（南西から）



9区 ピット・溝 全景（東から）



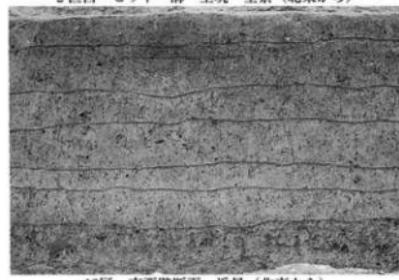
4区 ピット・溝・土坑 全景（北西から）



2区西 ピット・溝・土坑 全景（北東から）



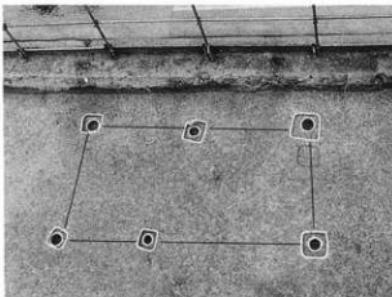
7区 南西壁断面 近景（北東から）



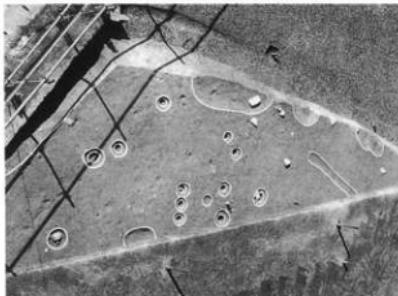
12区 南西壁断面 近景（北東から）



23区 ピット・溝 全景（北西から）



27区 掘立柱建物 5・16 全景（南東から）



6区 ピット・溝・土坑 全景（東から）



27区 掘立柱建物 5・16 全景（東から）



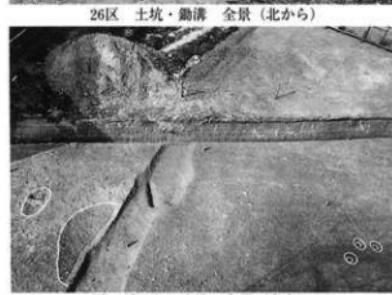
10区 ピット・土坑 全景（南東から）



26区 土坑・鶴溝 全景（北から）



10区 ピット・土坑 全景（南東から）



21区 ピット・土坑 全景（南東から）



1区 溝18 全景（南西から）



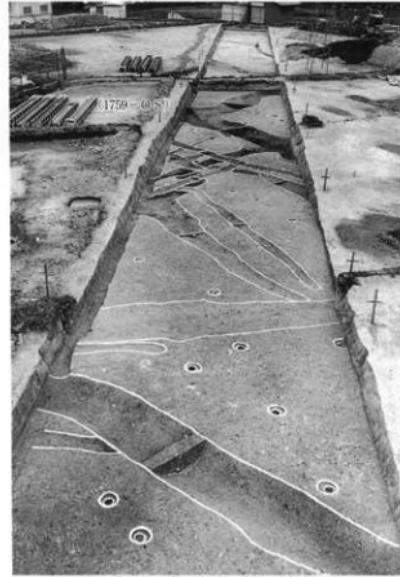
8区 溝・土坑 近景（北西から）



9区 ピット・溝・土坑 近景（北から）



5区 ピット・溝・土坑 近景（東から）



9区 ピット・溝・土坑 全景（南東から）



5区 ピット・溝・土坑 全景（北東から）